

いろいろなゆうすがありまして

やぶやぶにゅうすの感想、大蔵保険の感想をお寄せください。

office@yabuyabu.com



ライト君の小さいころです。

今大人気のマンガ「猫ちやん」が、5歳の男の子です。お名前は「ライチ君」。あまりの可愛さで、愛車のバイクを放したほど、「お高いんですけど!」など、もう十萬の猫ちゃん、足の短さが特徴です。愛くるしい行動がとても魅力的な子です。

編集長は基本は犬派なんですが、猫ちゃんも可愛い! やぶやニヤン子もいいですね。ホームページにわん子・ニヤン子のかわいいお写真掲載していきたないと思つております。可愛いわん子・ニヤン子をまた募集しますね。お待ちください。

ナショナルな文化

今保険会社のリーガルチャレンジを受けます。今は個人情報などいろいろ規制があります。法的に問題はないですか?消費者の皆さんに誤解を与える文章はないか?「てにをは」までしっかりと指摘されます。「中止・公正」などの禁止表現も禁止の方向です。規制の範囲で新しいわかりやすいホームページへいきたいと思つております。

近々ホームページ
が新しくなります!

ペット保険の市場が拡大しています！

先日ついにサッカー日本代表が2014年ワールドカップ・ブラジル大会に出場決定しました。前回のアフリカ大会にかけられた保険は総額約6億ポンド(およそ8000億円)であつたそうです。試合が予定通りに行われなかつた場合の、テレビ中継中止やチケット払い戻しによる損失を補償するための保険(興業中止保険)が全体の半分だったみたいですが、中には次のようなワールドカップに関する変わらぬ保険商品が出たようです。

百億円市場、世界3位に急成長という見出しが躍っていました。よいよ日本にもペント保険が浸透してきました。私事ですが編集長もペント保険の加入者です。契約者の一人としてやはり保障の良いものの利便性のあるものに加入したいと思っております。

ペソット保険の保険料の目安は小型室内で平均3万円ぐらいいです。年齢が上がるにつれ保険料が高くなるのは人間と同じです。病気のリスクが高くなるからでしよう。

保険会社によっては加入年齢制限や13歳になつたら保険は満了、保証は終了といふ会社もあります。

ペット保険の市場が拡大しています！

やぶやらにはうすで書かせて
いた、だいぶ「さよなら」のカラクリ
キ、さよならハチのカラクリ
は想定以上の皆様の涙を誘い、
大きな反響をいたしました。
お電話 やらお手紙、メールなど
ど、その後の二匹にさられたお
宅はどうなったか? 残されたマ
とパパはお墓に納めることも
できず、遺骨はリビングに、二
匹の写真が飾られ、お花に囲ま
れて置いてありました。

気にならぬの後 さよならクッキー



二つとも日本では到底考えられないのですが、ヨーロッパの人々のサッカー熱の高さを物語っているようです。読者の皆様もこんな保険があつたらしいのにというご要望があればぜひ弊社までご連絡ください。前向きに検討させていただきります?

日本人っていいな！

88歳の母を連れて100歳の叔母の墓参りに行きました。昨年の12月に葬儀の知らせが来たのですが北海道に一母を人で行かせるわけにはいきません。暖かくなってから連れて行くからと納得させ、ゴールデンウイークを利用して母、妹、弟の血族で行きました。

従兄弟と言っても68歳、それでも会えば子供のときと同じく「純ちゃん」なんて気軽に呼ばせてもらいましたが、この従兄弟は毎年東京の大学から北海道に帰省する際必ず私たちが住んでいる岩手県釜石に寄つてしばらく滞在するのが常でした。大学を卒業して教師になる際、父はお祝いに新日鉄釜石幹部ご用達の野崎洋服店で背広を作つてあげたそうです。それを従兄弟ははずーと持つていてくれたのです。ただし年々太ってきて、サイズが合わなくなりましたが初めてのオーダーの背広です。処分もせず、保管していくのです。感激！

二人に一人がガンになる時代、従兄弟は昨年ガンになり闘病生活を送りました。久しぶりにあった従兄弟は一回り細くなつておりました。しばらくは抗がん剤の影響で衰弱していましたが、今は氣力体力充実して自分が運営している介護施設の拡充に奔走しておりました。細くなつた従兄弟は昔作ってもらった背広を思い出しました。着てみるとサイズはぴったり、若干の手直しはしたものの、商工会議所のパーティで着たらとても好評。仕立てもいい、おしゃれと皆様に褒められたそうです。私たちもそ

たうごとも好評、立派でござり、おしゃれと自信に裏のうれしさであります。私たちの背広を見てもらいました。今の背広と違い重厚感があります。立派な三つ揃いの背広でした。保管してくれていた従兄弟の気持ちもうれしいし、洋服店の高い技術、職人技が長い年数を保ってくれたのでしょう。有意義な北海道の旅でした。

この話後日談があります。妹の友達が野崎洋服店のエピソードを聞き洋服店のことを調べてくれたのです。作ってくださったご主人は亡くなっていましたが息子さんと話ができるそうで我が家のことでも覚えていてくださってたそうな、保管してくれていた日本人の細やかな気配りと日本の技術、品質に乾杯！

杉山編集長



すもとチョコちゃん、幼い時は黑白がはっきりしています。だんだん黒色がグレーになります。生まれたときに真っ黒でクロと名前をつけたらあつという間にシルバーグレーになったという話もあります。

一犬のいる暮らし」といふ本で書いています。私はわざとお別れした方にこの本を差し上げています。この本を読んで少しは気持ちが落ちました

編集後記

この新聞がお手元に着くころには編集長は被災地石巻に慰問に行つております。市川市のボランティア活動でよさこいを踊るのであります。踊りは平均年齢還暦を越えているチームですので、皆様をはたして元気つけるか、心配です。今被災地が望むボランティア活動とは「泊る! 食べる! 買う!」だそうです。こちらは自信あります。被災地石巻にオハノクリスを發揮してこようと思つております。

皆様、夏のご旅行の計画がありましたらぜひ、被災地復興のため被災地旅行を計画ください。いい温泉もいっぱいありますよ!